

アルプス

第118号
2023年4月発行
発行所 長野学習センター
発行責任者 大塚 勉

所長からの挨拶	1
ご卒業おめでとうございます	3
卒業生からのメッセージ	4
公開講演会	6
卒業証書・学位記授与式(2022年第1学期)	7
入学者の集い(2022年度第2学期)	8
2023年度第1学期面接授業の予定	9
「同窓会長野」より	10
学習相談について(教員・職員紹介)	11
今後の主なスケジュール	11
学位授与制度を利用して「学士」取得を目指す方へ	12
Web通信指導の利用について	12
単位認定試験について	12
各種証明書の発行について	14
学習センターの図書業務の取り扱いについて	15
システムWAKABAのパスワードの変更について	15
長野学習センターの利用について	16

所 長 か ら の 挨 拶

踏み出せば新たな視点が

長野学習センター所長 大塚 勉

昨年4月に長野学習センター所長として赴任してから、1年が経とうとしています。不慣れなことばかりで、あっという間に時間が経ってしまいました。学習センターとして、新型コロナウイルス感染症が治まらない中で、面接授業や講演会、さらに単位認定試験など様々な事項に対応することとなりました。皆様もいろいろ制約が多い中で学ばれるのは大変であったとお察し申し上げます。ただ、ウェブ配信授業が中心の放送大学は、コロナ禍の中で威力を発揮した面もあると考えています。

さて、私はこれまで「野外を歩いて考える地質学」をやってきました。もう少し具体的に申しますと、まず、地質を考える上で必要な証拠が得られそうな野外、あるいは明らかにすべき課題が見えている現場に出かけて調査を行います。そこで、地層や岩石に関する証拠を揃え、地質構造の発達過程や地域の成り立ちを考えるのです。

40年以上そのようなことをやってきたのですが、ある課題に取り組んでいると、その過程で新たな興味深いテーマや課題が浮かび上がってくるのです。岩石や地層が、野外で露出している場所を「露頭」と呼んでいます。その露頭を繰り返し訪れて観察したり、必要なことがらを記録したりしていると、当初の課題とはまた違った面白さに気が付くことがあるのです。机の前でじっとしているよりも、露頭やその地域が語りかけている場に身を置くことが重要と思ってこれまでやってきました。

敢えて行動すると新たな事実に気づいたり、これまでとは異なる視点を得たりします。これは決して地質学の世界だけではなく、一般的なことではないでしょうか。これまではあまり接してこなかった新たな分野について学び始めることも、「敢えて行動する」ことに当たります。また、これまで学んだ分野でさらに歩を進めて深く学ぶことも「行動」です。

放送大学では多くの教育コンテンツが提供されています。そこには、皆さんの新たな行動を支える機能があります。新たな学びに一步を踏み出すことによって、ぜひ新たな気づきを体験してみてください。

再び自分の話題に戻ることをおゆるしくください。最近では、ささやかではありますが、これまでやってきた地質の知見を社会に還元する機会も多くなりました。そのようなときでも、内容をまとめる際には、これまで馴染みがなかった分野にも踏み込んで勉強する必要があるがどうしても出てきます。ここでも好むと好まざるとにかかわらず、新たな出会いがあります。実はここでも予期せぬおもしろさ体験しています。





ご卒業おめでとうございます

2022年度2学期、全国で学位授与者は学部3,907名、大学院修士課程256名、大学院博士後期課程9名併せて4,172名の方がいらっしゃいます。長野学習センターからは45名の卒業生等を送り出すことができました。

長野学習センター所属の卒業生等は下記の皆さんです。皆様のこれまでのご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

2022年度2学期 教養学部をご卒業された41名の方々の内訳は、下記の通りです。

(コース名)

(生活と福祉)	9名	(人間と文化)	7名
(心理と教育)	16名	(情報)	3名
(社会と産業)	3名	(自然と環境)	3名
計.....41名			

2022年度2学期 大学院修士課程をご修了された4名の方の内訳は、下記の通りです。

(プログラム名)

(社会経営科学) ...	2名	(臨床心理学) ...	2名
計.....4名			

長野学習センター所長表彰

2022年度2学期の卒業生のうち、所長表彰「長野学習センター所長表彰」に該当された方は、次の方でした。おめでとうございます。

学生の皆様も、是非所長表彰を目指して頑張ってくださいと思います。

中嶋 誠	長野学習センター生涯学習奨励表彰
渡辺 浩光	//
吉池 史夫	長野学習センター所長特別表彰

卒業生からのメッセージ

表 題 「初めての面接授業は感動的」

(敬称略)

コース 生活と福祉コース

中島 誠

10年前転職を機に自分の時間を持ちたいと思い、全科履修生として入学しました。当初は、履修できるだろうか不安でしたが、ドキドキで参加した初めての面接授業内容と受講者が素晴らしく、ここからファイトが湧いてきました。そして、この春4コース目の卒業を迎えることができました。

10年という歳月は身近な変化が多く、勤務しながら家人の介護や子供進学やら主夫業等々と向き合うことになりました。こんな時、ずっとそばにいてくれるのが相棒の老犬と放送大学です。多コースを履修していると、例えば美術史と経済史の背景関連が見えたりして頷くことがあります。新年度再入学して、別コースを履修したいと思います。

表 題 「無題」

(敬称略)

コース 情報コース

渡辺 浩光

2009年4月に放送大学に入学した。

高校を卒業して、県内に就職。その後、30歳過ぎてからの入学でした。

入学はしたものの、どのくらいの科目数で卒業できるものなのか。また半年でどのくらい科目を選択するものなのかも判らず、放送授業3科目と面接授業を1科目選択した事を憶えている。

単位認定試験では1科目不合格で、小難しい数式を解くことに腰を据えて取り組み、何とか合格することができた。(内心、大変なものに手を出してしまった...と思いはしたが、どうすれば卒業できるのか真剣に考え始めたような気がします。)

それから5年半をかけ、なんとか124の単位を取得し卒業となった。

放送大学で学ぶことは、今まで知らなかった知識に触れられる唯一無二の場所となっていたため、今日まで再入学を繰り返している。

今度は4回目の再入学、この楽しさを続けていきたいと思う。

表 題 「雑感」

(敬称略)

コース 心理と教育コース

吉池 史夫

初めて放送大学の門を叩いてから、間もなく四半世紀。6回目の卒業です。

放送大学がCS放送で全国展開した、平成10年(1998年)の2学期が最初の入学で、専攻は「産業と技術」。

卒業は、平成15年3月です。卒業は1回だけするものと思っていたのですが、ある時、5回か6回卒業すると、名誉学生として学長表彰になるというお話を聞き、卒業から数年後再入学し、名誉学生となる日を夢見て、リピーターを重ねて現在に至っています。

「心理と教育コース」で特に印象に残った科目に「精神疾患とその治療」があります。病気の症状等を端的に説明されていて、分かり易い。例えば、ある種のパーソナリティ障害についての説明に、「自分の側の原因を認めず専ら他人の責任を問う。訴訟好き。配偶者が嫉妬深い」などマイナーなところまであげられている。対人関係がスムーズにいかないとき等に一読すれば、解決の方向性が見つかるかもしれません。

私には、まだ「人間と文化コース」が残っていますので、座右の放送大学として永く学んで行きたいと思います。

表 題 「放送大学での4年間」

(敬称略)

コース 生活と福祉コース

池田 朱里

私は平成31年4月に大学卒業を目的に放送大学へ入学しました。高校を卒業し、就職と同時に入学したため、仕事との両立に苦心することもありました。しかし、オンライン授業や放送授業のインターネット配信により、限られた時間の中でも学習を進めることができました。

新型コロナウイルスの流行により学生同士関わる機会が少ない反面、周囲の方の学習意欲に刺激を受けることもありました。単位認定のために学習センターへ行った時のことです。試験会場には幅広い年代の方がおり、学ぶ意欲があれば年齢は関係ないと感じました。大学卒業後も今の自分に満足することなく、様々なことに挑戦していきたいと思います。

表 題 「仲間とともに学んだ2年間」

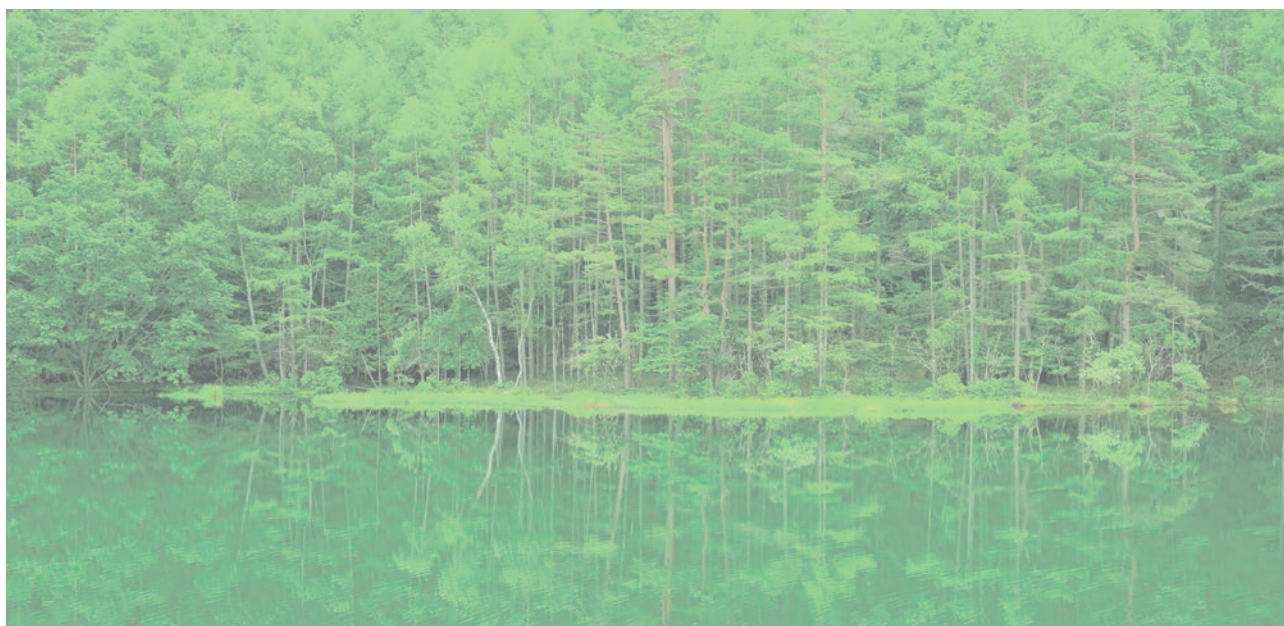
(敬称略)

プログラム 臨床心理学プログラム

前島 奈津子

私は教員として働きながら臨床心理学を学んできました。思い出深いのは、苦しんだ時に支えてくれたゼミの仲間のことです。中でも、沖縄在住の方と何度もメールでやりとりしたこと、実際にお会いして意気投合したことは忘れがたい思い出です。仕事と学業との両立は大変でしたが、仲間がいたからこそ最後まで頑張ることができました。仲間とともに学んだ2年間だったと思います。

この2年間で、様々な心の問題とそれに関わる心理士の役割・態度・技術についての理解が深まり、自分自身の内なる世界をより深く豊かに感じられるようにもなりました。これらは、今後の教育活動にも自分自身の人生にも大いに役立っていくことでしょう。放送大学大学院で学ぶ機会が得られ、本当によかったと思います。支えて下さった全ての皆様に、心から感謝申し上げます。



公開講演会

“平均寿命から地域差を考える”

2022年8月27日(土) 13:30～16:00 放送大学客員教授 柳町晴美



“信玄公旗掛松事件”の背景を語る《第2弾：完結編》－「権利の濫用は、これを許さない」の誕生秘話－

2022年9月17日(土) 13:30～16:00 信州大学名誉教授 後藤泰一



「格言に学ぶ考え方・生き方」－先人の知恵に学ぶ物事の捉え方・理解の仕方－

2023年2月25日(土) 13:00～15:30 放送大学長野学習センター非常勤講師 金高茂昭



卒業証書・学位記授与式 (2022年度第1学期)
放送大学長野学習センター (10.8開催)



名誉学生の表彰を受ける服部さん



所長挨拶



同窓会長挨拶

入学者の集い(2022年度第2学期)
放送大学長野学習センター(10.8開催)



大塚所長挨拶

長野学習センターにおいて、10月8日(土)に「2022年度第2学期入学者の集い」が開催されました。

長野学習センターの2学期の新入学予定者数は、教養学部全科履修生・選科履修生・科目履修生・特別聴講生合わせて204名、大学院修士選科生・修士科目生・修士特聴生は合わせて22名です。それぞれの目標を目指し、目標の単位修得に向けて、皆で一緒にがんばりましょう！



2023年(令和5年)度 第1学期面接授業日程表及び追加登録締切日

学期	科目区分	ナンバリング	科目コード	クラス	科目名	講 師		定員	開講日	追加登録 締め切り	開講 場所
1 学 期	専門科目: 生活と福祉	320	2616238	K	現代日本の 家族政策	下 夷 美幸	放送大学教授	15	4/22・23	4月21日	講義室
	専門科目: 心理と教育	320	2613409	K	心理学実験3	金高 茂昭	放送大学長野学習 センター非常勤講師	25	4/22・23	4月21日	学習室
	専門科目: 心理と教育	320	2613360	K	心理学実験1	松本 昇	信州大学准教授	25	5/13・14	5月6日	学習室
	導入科目: 自然と環境	220	2619938	K	実験で学ぶ 色の科学と文化史	安池 智一	放送大学教授	20	5/20・21	5月13日	学習室
	専門科目: 社会と産業	320	2619970	K	ワインの科学	岸本 宗和	山梨大学准教授	20	5/27・28	5月20日	学習室
	導入科目: 情報	230	2619920	K	エクセルで学ぶ 統計学入門	中村 寛志	信州大学名誉教授	20	6/3・4	5月27日	学習室
	導入科目: 自然と環境	220	2619946	K	信州の地質と災害	大塚 勉	信州大学特任教授・ 放送大学長野学習 センター所長	15	6/3・4	5月27日	講義室
	専門科目: 自然と環境	320	2619997	K	植物が身近になる サイエンス	菅原 敬	元東京都立大学 理学研究科准教授	15	6/10・11	6月3日	講義室
	専門科目: 心理と教育	320	2613387	K	心理学実験2	松本 昇	信州大学准教授	25	6/10・11	6月3日	学習室
	基盤科目	110	2619890	K	モダンとは何かー 社会文化的視点	坂井 素思	放送大学特任教授	15	6/17・18	6月10日	講義室
	導入科目: 自然と環境	210	2619954	K	日常生活の中の わかり易い生物学	高田 啓介	放送大学長野学習 センター客員准教授	20	6/17・18	6月10日	学習室
	専門科目: 社会と産業	320	2619989	K	地球温暖化に 関する最近の情報	柳町 晴美	放送大学長野学習 センター客員教授	15	6/24・25	6月17日	講義室
	専門科目: 心理と教育	320	2613425	K	心理検査法 基礎実習	金高 茂昭	放送大学長野学習 センター非常勤講師	25	6/24・25	6月17日	学習室
	基盤科目	110	2613948	K	新・初歩からの パソコン	湯田 彰夫	信州大学特任教授	15	7/1・2	6月24日	講義室
	導入科目: 自然と環境	210	2619962	K	基礎化学入門	勝木 明夫	信州大学教授・ 放送大学長野学習 センター客員教授	20	7/1・2	6月24日	学習室
	導入科目: 人間と文化	220	2619911	K	主体の成立	本郷 朝香	立教大学非常勤講師	15	7/8・9	7月1日	講義室
	導入科目: 生活と福祉	210	2619903	K	人生における レジャーの重要性	古屋 顯一	信州大学特任教授・ 放送大学長野学習 センター客員教授	20	7/8・9	7月1日	学習室

※4月15日(土) 12:00～ 空席状況公表「システムWAKABA」

※4月20日(木) 10:00～ 追加登録受付開始

受付初日10:00までに来所の方を対象に抽選、それ以降先着順

※4月20日(木) 15:00～ リアルタイムで空席状況確認 「システムWAKABA」

※HP等で確認のうえ、お申込みください

※手続きは窓口、又は郵送(窓口優先)

※お申込は釣銭のないようお願いします

2023年4月

在学生の皆様へ

放送大学同窓会長野
会長 杉田 昌之

新学期を迎え、学生の皆さんはそれぞれ目標に向かって鋭意努力されている事と存じます。また、この度入学された皆様、入学おめでとうございます。同窓会員一同心よりお祝い申し上げます。放送大学同窓会長野は、1996年（H8年）設立、「生涯学習の理想の実現を目指し、会員相互の親睦と会員相互の隆盛発展を図るとともに、放送大学に協力し母校の隆盛発展を図る」を目的に活動しています。

当会の活動には、野外研修会、公開講演会・体験発表会（長野学習センターと共催）、入学生学習相談会、会報の発行などがあります。

今回は、学生の皆さんと同窓会会員の交流会について紹介します。

★★

【学生交流広場】

（新型コロナの影響で紹介できる活動が中止となり、今回紹介する交流会は、以前の記録です。）

学生と同窓会員との懇談と情報交換を目的に、長野学習センターと共催で開催した「公開講演会・体験発表会」の前後の時間に実施しました。

学生交流広場の内容

●喫茶コーナー

お茶やコーヒー、菓子等を頂きながら懇談しました。
（昼食時には軽食を提供）

●何でも相談コーナー

学生からの相談に会員が応じました。

●趣味とリサイクル品のコーナー

会員から提供された趣味の手作り品やリサイクル品の展示販売をしました。

●歌唱の時間（学歌、唱歌等を歌いました。）

「学歌が歌える」を目指して・・・（成果は？）



★★

同窓会では放送大学オリジナルバッジを取り扱っています。

入学・卒業記念にどうぞ



オリジナルバッジ・まなびーピンバッジ

（2個セット：1,000円）

申し込みは 杉田まで（携帯：080-5694-4898）

卒業されましたら、同窓会にご入会下さい。

学習相談について（教員・職員紹介）

長野学習センターでは、所長のほか4名の客員教員により、随時学習相談を行っています。

学習方法、修学上の疑問、卒業研究についての相談など、お気軽にご相談ください。先生方の在席の予定は、毎月放送大学長野学習センター・ホームページや掲示板でお知らせします。学習相談をご希望の方は、在席日時をご確認のうえ事務室へご連絡ください。

また、各種手続き等で、下記事務職員が対応いたしますので、よろしくお願いいたします。

	氏 名	専 門 分 野	相 談 日	現 職
センター所長	大塚 勉	地学	水～土曜日	信州大学名誉教授
客 員 教 員	高田 啓介	生物学	月3回、木曜日	前信州大学准教授
客 員 教 員	柳町 晴美	地理学	月3回、火曜日	信州大学名誉教授
客 員 教 員	勝木 明夫	物理化学	月3回、土曜日	信州大学教授
客 員 教 員	古屋 顯一	スポーツ科学	月3回、水曜日	信州大学特任教授

事務長 宮坂 事務職員 細井、唐澤、土屋、小林、池上、河西

今後の主なスケジュール

日 程 等	行 事 等
4月 8日(土)	入学者の集い(予定)
4月 15日(土)	面接授業空席状況発表(12時現在の空席状況発表「システムWAKABA」)
4月 20日(木) 10:00～	面接授業科目追加登録受付開始(締切等詳細は8Pの日程表参照) (15:00～リアルタイムで空席状況の確認「システムWAKABA」)
4月 29日(土)～ 5月 5日(金)	閉所(祝日及び臨時閉所含む)
5月 9日(火) 10:00～ 5月 30日(火) 17:00	2023年度第1学期通信指導提出受付(Web)
5月 16日(火)～ 5月 30日(火)	2023年度第1学期通信指導提出受付(郵送：期間内必着)
7月 15日(土) 9:00～ 7月 25日(火) 17:00	2023年度 Web単位認定試験(学部・大学院)
7月 28日(金)～ 7月 31日(月)	閉所(臨時閉所含む)
8月 11日(金)～ 8月 16日(水)	閉所(祝日及び臨時閉所含む)
8月 15日(火) 9:00～ 8月 31日(木) 24:00	2023年度第1学期科目登録申請期間(システムWAKABA)
8月 15日(火)～ 8月 30日(水)	2023年度第1学期科目登録申請期間(郵送：私書箱必着)
9月 2日(土)～ 9月 4日(月)	閉所(臨時閉所含む)
9月 30日(土)	大学院入学第1次選考試験

※日程等については、原稿作成時のものです。諸状況により、変更となる場合があります。最新の情報確認にご留意願います。

* 学位授与制度を利用して「学士」取得を目指す方へ *

学位授与制度は、短期大学・高等専門学校を卒業された方など、所定の「基礎資格を有する方」が、放送大学などで一定の学修を積み上げた場合、大学評価・学位授与機構の行う審査に合格することによって「学士」の学位取得ができる制度です。申請時期は4月期・10月期の年2回です。

61の「専攻の区分」に応じた“28分野の学士”があり、合格者には、「学士（専攻分野の名称）」が授与されます。

●学位授与制度に関するお問合せ先は、下記のとおりです。

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

☎ 042-307-1550 ホームページ <https://www.niad.ac.jp/>

* Web通信指導の利用について *

一部の科目を除き、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる『Web通信指導』が利用可能です。（学部学生生活の葉及び大学院学生生活の葉参照）。『Web通信指導』で通信指導問題を提出した場合は郵送による提出は不要です。対象科目、受講方法等についてはキャンパス・ネットワーク・ホームページを参照してください。郵送の場合と同様に提出期間が決められていますので、注意してください。通信指導の添削結果により、単位認定試験の受験資格が得られます。

* 単位認定試験について *

単位認定試験は、Web受験方式（一部科目※については郵送受験方式）で以下のとおり実施となります。

A) 実施方法（Web受験・郵送受験方式は試験期間中ならいつでもご自宅で受験できます）

Web 受験方式

- ・自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- ・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の併用式）」のいずれかの形式で出題されます。
- ・択一式問題・選択肢をクリックすることで解答します。
- ・記述式問題・解答記入欄に文字を入力することで解答します。

郵送受験方式（下記3科目のみ）

※「正多面体と素数(21)」(記述式)、「日本美術史の近代とその外部(18)」(記述式)、「量子化学(19)」(併用式)、は「郵送受験方式」のみ、郵送試験で実施します。

- ・7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で提出します。
- ・試験時間の制限は行いません。

B) 試験日程

Web受験方式（試験期間）：2023年7月15日（土）9:00～7月25日（火）17:00

郵送受験方式（試験期間）：2023年7月15日（土）～7月25日（火）《必着》

C) Web単位認定試験体験版について

実際の試験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する端末から、2023年第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

D) 自宅等でのWeb受験が困難な場合【要申請】

2023年度第1学期単位認定試験において、「Web受験方式」の科目について自宅等にWeb受験できる環境がない、またはパソコン等の操作が困難等の事情により自宅等でのWeb受験が困難な場合は、下記①をご覧ください、申請してください。

ただし、「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下をご理解いただいた上で申請してください。

- ◆学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」に記載の試験日・時限に受験する必要があります。（学習センターが試験日時を調整する場合があります。）
- ◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。（記述式の解答のみ解答用紙）
- ◆学習センターで行う操作体験会に、原則としてご参加ください。（詳細につきましては、「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対し、随時ご案内いたします。）
- ◆「郵送受験方式」の科目については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。

※各学習センターでは、個別に学習センター受験日時の調整をお願いすることがあります。

①学習センター受験申請

上記のことを踏まえ、2023年度第1学期単位認定試験について、学習センター等での受験を希望する場合は、必ず下記申請様式にご記入の上、申請期間内に郵送により申請してください。

申請様式 学習センター受験申請書（2023年度第1学期の印刷教材等に同封します*）

※印刷教材の発送がない方の場合「番組ガイド」等に同封します

申請期間 2023年 4月1日（土）～2023年 5月24日（水）《必着》

申請宛先 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

②Web単位認定試験の操作体験会について（2023年6月下旬予定・事前申込み制）

学習センターで受験する場合、パソコン操作が不慣れな方は、必ず操作体験会に参加してください。

また、自宅受験の方でも、体験版を実施して、操作が不安な方は、お気軽に、長野学習センター（0266-58-2332）にお電話にて、ご相談ください。別途操作指導もしくは、体験会にご参加などご案内いたします。

なお、実施詳細につきましては、後日学習センター受験申請者に申込み参加者に別途、ご連絡いたします。

* 各種証明書の発行について *

各各種証明書の発行については、学習センターで行っています。証明書が必要な方は、『学生生活の葉』教養学部(97P～99P)・大学院(92P～94P)の当該ページを参照し手続きしてください。

1. 発行手続き

原則として、郵送にて請求してください。以下の①～③を学習センターへ送付してください。

- ①「諸証明書交付願」に所要事項を記入したもの
- ② 発行手数料(1通につき200円)・・・現金又は郵便小為替(相当額の切手を送られても、受理できませんのでご注意ください。)
- ③ 返信用封筒(長形3号切手貼付(証明書1通の場合84円、2通以上もしくは「学力に関する証明」の場合94円、なお50gを超え100gまでの場合140円)、住所・氏名明記のこと)

※上記の切手料金額は、あくまでも目安です。返信用封筒総重量により料金額は変わりますので、差額が生じた場合には、受取人払いで発送いたしますので、ご承知ください。

2. 発行に要する日数

学習センターで「諸証明書交付願」を受理後通常1～3日程度かかります。

以下の証明書等については2週間程度かかりますので、余裕をもって請求してください。

発行に2週間程度要する証明書等

- 教員免許状申請用の単位修得証明書(学力に関する証明書)
- 資格関係の単位修得証明書
- 大学院受験のための調査書
- 大学院博士後期課程受験のための調査書

3. 留意事項

「教員免許状申請用単位修得証明書」を請求する場合は、以下の事項に留意し請求してください。

- (1)「諸証明書交付願」は2種類あります。「証明書の種類」欄に、『教員免許状申請用証明書』と記載のある方は、教養学部(様式10)・大学院(様式9)をご利用ください。
- (2) 利用の目的欄に、所持免許(例：高校1種国語)・申請免許(例：高校専修国語)・在職年数・提出先の教育委員会を必ず記入してください。免許の種類ごとに証明書を発行します。
なお、免許状に関するお問い合わせは、申請先の県教育委員会へお願いします。



* 学習センターの図書業務の取り扱いについて *

学習センターにおける図書業務の取り扱いにつきましては、下記のとおりです。

なお、図書館利用につきましては、放送大学ホームページの「在学生(WAKABA)」→「放送大学附属図書館」→「図書館を使う」をご参照ください。

- 1 2019年3月に学習センターが所蔵する図書の貸出は終了し、放送大学所有図書の貸出は附属図書館が一括して行っています。
- 2 放送大学附属図書館で行う図書貸出し方法は、「学習センターに取り寄せる方法」と「学生の自宅へ配送する方法」の2パターンです。
- 3 学習センターは、学生が附属図書館等から学習センターに取り寄せた図書を貸し出す業務を行っています。

なお、できるだけ人と人との対応を減らし、「附属図書館から学生の自宅へ配送する方法」での対応を、極力お願いいたします。

* システムWAKABA初期パスワードの変更について *

2023年度第1学期新入生で、初期パスワードから変更されていない方は、システムWAKABAにログインの上、パスワードの変更をお願いいたします。再入学等の学生でパスワード変更を行っていない場合は、システムにログインできない場合があります。ログインできない場合は、以下の【問い合わせ先】までご連絡ください。

ログイン先 <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>

【問い合わせ先】

- ・学生サポートセンター（電話:043-276-5111）
- ・教務課教務係（e-mail:kyomuka@ouj.ac.jp）
- ・学習センター（対面、電話:0266-58-2332）

本人確認の上、初期パスワードに設定いたしますので、速やかにシステムWAKABAにログインの上、パスワードの変更を行ってください。なお、翌朝6時までにパスワードを変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

※e-mailでのお問い合わせに対する返信には数日かかる場合があります。なお、一度e-mailでお問い合わせをされた方は、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

* 長野学習センターの利用について *

開所時間

午前9時30分～12時、午後1時～5時30分

(12時から13時の間は事務室を含めすべて閉所、電話対応も同じ)

利用できる施設

事務室窓口、図書・視聴室

閉所日

毎週月曜日・国民の祝日に関する法律に定める祝日・休日、年末年始(12月29日～1月3日)

学長又は所長が特に必要と認めた日(学習センター利用の手引をご覧ください。)

なお、臨時閉所は長野学習センターHPの新着情報等でも確認願います。

利用に関する注意

- ①発熱やせきなど、体調不良の方は入館できません。
- ②備え付けのアルコール消毒液や検温機器をご利用ください。
- ③館内での飲食は基本的にはできません。ただし、面接授業で休憩時間に自席で昼食を取られる場合は差し支えありません。ゴミ等は各自お持ち帰りください。
- ④利用禁止の場所は使わないでください。
- ⑤窓口にある入館者記録票へ記入してください。

その他

火曜日のみ、駅交番側のエレベーターで3階へお越しく下さい。

(火曜日は店舗側エレベーター、エスカレーター等は休止しています。)

なお、自治体の判断やその他の事象に基づき、予告なく閉鎖となる場合もあることをご了解ください。
放送大学・長野学習センターからは、臨時閉所等のお知らせがホームページに掲載されますので、ご留意願います。

編集後記

諏訪市の1月下旬の最低気温は-5℃前後で、最も低い最低気温は-10℃と、毎朝厳しい寒さが続いており、小生もこの寒さには、多少難儀いたしました。

しかし、諏訪湖の御神渡りの出現状況については、毎日の寒暖差などの状況で、厳しい状態で、今年も出現には至りませんでした。異常気象の影響であるのか詳しくはわかりませんが、少しずつ従前とは違い大きく変化しております。

我々を取り巻く環境も、少しずつ変化しておりますので、それにより適応していくことが、何より大切であると感じております。

また、2月中旬には大雪も降り、冬の厳しさを改めて痛感させられました。

ただ、ここ3月は、日中の日差し春の訪れをほのかに感じ、「春よしばしまだか」と思いを馳せております。

コロナウイルス新規感染症数も徐々に減り、従来の生活環境に戻りつつある予兆を感じ、心安らいでいる今日この頃です。